

# 全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

## 第25回 勉強会

令和元年11月6日(水)から7日(木)にかけて、国土交通省の後援のもと、「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 第25回勉強会」が小樽経済センター(北海道小樽市)にて開催されました。

### 〈1日目〉

勉強会1日目には27団体64名(一般参加者、賛助・参与会員等含む)もの多数のみなさまに参加いただきました。

開会に先立ち、(株)まちづくり松山の日野二郎会長よりごあいさつをいただいた後、来賓として国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長の三浦良平様よりごあいさつをいただきました。



### ■開催地挨拶・講演

#### 「小樽市における今後のまちづくりの展望について」

—小樽市 副市長 小山 秀昭 様



公務ご多忙の中、小樽市副市長の小山秀昭様にご来場いただき、開催地挨拶及び小樽市のまちづくりの展望についてご講演をいただきました。

#### 【小樽の現状】

小樽港は2019年に開港120周年を迎えるとともに、小樽市は2022年に市制施行100周年を迎える。市の人口のピークはS39年の20.7万人。以降、人口減少が続き、9月現在で人口11.5万人。年少人口8.5%に対し、老年人口が40%と、少子高齢化が進む。

#### 【今後のまちづくり】

①JR 小樽駅前再々開発、②北海道新幹線新駅周辺まちづくり、③小樽港第3号ふ頭周辺整備、④歴史的建造物の保全・活用の事業と、各種ソフト事業を掛け合わせて、中心市街地のにぎわいを創出していく。ソフト事業としては、「雪あかりの道(2月)」等のイベントや文化庁が認定する「日本遺産」を活用している。

#### 「小樽市の景観まちづくりの近況について」

—小樽市 建設部 新幹線・まちづくり推進室  
景観まちづくり担当主幹 中西 浩一 様

続いて、小樽市新幹線・まちづくり推進室 景観まちづくり担当主幹の中西浩一様より、小樽市の景観まちづくりに関するご講演をいただきました。



小樽運河論争を経て歴史的景観の保全に対する市民合意が醸成され、「小樽市歴史的建造物及び計画地区保全条例」が制定された(1983年)。また、1990年代のマンション建設問題から、保全条例を発展的に解消し「小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例」が制定された(1992年)。さらに、小樽歴史景観区域の拡大や、2004年に公布された「景観法」を活用して「景観行政団体」となり、2009年には「景観計画」及び「改正景観条例」を施行した。

### 「都市再開発法施行後の全国初の駅前再開発事業から再々開発事業に挑戦

#### 小樽駅前第3ビル再々開発事業について」

—小樽駅前ビル(株) 代表取締役専務 浅村 公二 様



休憩をはさんだ後、小樽駅前ビル(株)代表取締役専務の浅村公二様から、小樽駅前地区の再開発の歩みについて講演をいただきました。

昭和45年に都市計画決定された小樽駅前再開発事業は、

都市再開発法による全国初の事業であり、3棟の施設建築物と駅前広場が長らく小樽駅前の街の顔であった。しかし、平成14年に第3ビルの核店舗であるホテルが営業停止したことから、再々開発を検討。「一度再開発を行った建物に再度補助金を導入できるか」という最初のハードルのほか、「プール閉鎖反対運動」、「歩道橋撤去反対」、「契約ホテルの撤退」、「多額の滞納金」、「代替店舗の確保」等、様々な課題を克服し、平成21年に工事完了公告と、再生を果たした。

再開発組合の事務局長を務めていた浅村専務の「願いを具現するための3条件」(①内なる心に青写真を描く、②外なる世界の条件に負けない、③共同する)は、大変参考になりました。

## ■国等からの情報提供

### 「中心市街地の活性化にむけた取組みの状況について」

一内閣府 地方創生推進事務局  
参事官補佐 伊藤 嘉道 様



- ・中心市街地活性化制度の概要
- ・これまで認定を受けた中心市街地活性化基本計画: 累計143市2町233計画(令和元年10月現在)

- ・フォローアップ実施時期とスケジュール
- ・フォローアップ指標
- ・平成30年度 定期フォローアップ結果
- ・平成30年度 最終フォローアップ結果
- ・最終フォローアップにおける評価指標の目標達成状況
- ・「稼げるまちづくり」の推進について

### 「中心市街地活性化施策について」

一経済産業省 地域経済産業グループ

中心市街地活性化室 係長 眞壁 純 様



- ・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の概要と認定事業一覧(認定18件)
- ・民間中心市街地商業活性化事業計画の概要(中活法)
- ・平成31年度地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助

- 金(中心市街地再興戦略事業)採択一覧
- ・中心市街地活性化のための税制措置
- ・中心市街地活性化のための融資制度
- ・まちづくり人材の育成のための取組

### 「まちづくりに関する施策について(情報提供)」

一国土交通省 都市局 まちづくり推進課  
官民連携推進室 課長補佐 並河 洋一 様



1. 居心地が良く歩きたくなるまちなかからはじまる都市の再生
- ・都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会
- ・都市経済・社会を巡る背景
- ・都市再生政策の動向
- ・国内事例、海外事例
- ・今後のまちづくりの方向性
- ・まちなか再生に向けた幅広い官民関係者の連携充実
- ・「まちなかウォーカーブル推進プログラム」

- ・ウォーカーブル推進都市の募集

## 2. 官民連携まちづくり関連情報

- ・官民ポーターレスまちづくりミーティング(1月予定)
- ・「官民連携まちづくり」の手引きや啓発パンフレット
- ・都市再生推進法人の制度概要と指定状況

## 〈2日目〉

### ■現地視察

勉強会の2日目は、小樽駅前ビル(株)山田常務から、



小樽駅前第1ビル再開発の現状について概要説明を受けた後、小樽駅周辺の現地視察等を行いました。

駅前広場の再編と第1ビルの更新を一体的に行っていくと、事業化構想を練っているとのことでした。



### ■最後に

第25回勉強会は、北海道初上陸となりました。小樽駅前ビル(株)の方々を始め、小樽市ほか開催地の皆様には、開催準備から当日の運営まで多大なご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

次回勉強会は2020年7月頃に予定しております。詳細が決まりましたら、メールやホームページでご連絡いたします。皆様の参加をお待ち申し上げます。